

❖コースの見どころ❖

このはなさくやひめじんじゃ

4月『木華佐久耶比咩神社』

「このはなさくやひめ」とは、木の華が（＝桜とされる）咲くように美しい女性という意味。中世から明治に至るまで福南山明現宮と称され、熊野五流一山の修剣道場として栄え、江戸時代には備前池田藩主の祈願所として崇敬されていました。木華佐久耶比咩命は、大山祇命の子で、天照大神の孫、瓊々杵命の妃となられ、桜の花の如く心身ともに麗しく日本国最古の国母の女神とされており、「美の女神」が祀られている神社といわれており、「美の増進」「安産」「厄除け」を願う女性が多く訪れます。祭神に相応しく桜の植樹にも力を入れています。また、山頂の展望台からは瀬戸内海の島々が望めます。



たてつきいせき

5月『楯築遺跡』

楯築(たてつき)遺跡は倉敷市域北東の岡山市と境を接するあたりに広がる王墓山丘陵地形を利用して造られた弥生時代後期の墳丘墓です。同時期の弥生墳丘墓としては日本最大級で丘部は径約50m、高さ5m。墳丘頂部には5個の巨石が立っており、墳丘斜面には円礫帯がめぐっています。発掘調査の結果、朱の敷き詰められた棺とそれを納めた木製の槨の痕跡が発見され、鉄剣と大量のガラス小玉、土製の勾玉などもみつかりました。弥生時代から古墳時代にかけての社会の変化を研究するうえで、全国的にも重要な遺跡のひとつです。



かめじまやまこうえん

6月『亀島山公園』

倉敷市水島にある標高78mの小さな山に整備された自然豊かな公園。頂上の展望広場からは見晴らしが良く、水島コンビナートを中心に360度近い夜景が見渡せます。駐車場から7分程度歩きますが、苦勞に見合うだけの夜景が期待できます。第二次世界大戦末期にアメリカ軍の空襲を避けるため、三菱重工業水島航空機製作所の一部を移転させた地下工場がこの山の地下に建設され、亀島山地下工場と呼ばれていました。



みずしまりよくち

9月『水島緑地』

水島工業地域と住居地域の間に設けられた面積12.0haの緩衝緑地で、園路や休憩舎等を備えています。園内には約160本のソメイヨシノが植えられていて、春には、桜に囲まれた広場でお弁当を広げたり、園路の桜のトンネルをゆっくり散策して地元でも「隠れた桜の名所」として評判です。また、夏には、緑の屋根が日差しを遮ってくれ、ウォーキングにもお勧めです。



きびだいじんぐう ことびきいわ

10月『吉備大臣宮・琴弾岩』

遣唐使として唐に渡った吉備真備公を祀る神社です。学問に秀でていた真備公にあやかろうと、受験シーズンには多くの受験生が参拝します。大臣宮のある一帯は吉備真備公園として整備され、手打うどんで有名な館址亭などがあります。また、琴弾岩は吉備真備公が、晩年父祖の地に帰り、中秋の名月の夜に、この上で琴を弾かれたと伝えられています。毎年、中秋の名月の夜にこの岩に集い、真備公の故事にちなんで弾琴祭（だんきんさい）が開催され、岩上で琴・尺八を演奏して公の遺徳をしのんでいます。



11月『ことうこう しもむらこう琴浦港・下村湊』

琴浦港は児島の市街地からのアクセスも良く、大きな2つの波止が魅力の釣場として知られています。

下村湊は江戸時代に埋め立てられた陸地です。港の前に一文字防波堤があり、美しい常夜灯があります。

また、琴浦中学校前の高台からは、下村湊の灯台付近から遠くの四国の山並みまで瀬戸内海を満喫できます。天気の良い日には大変気持ちの良い海沿いのコースです。



12月『ひるまやまほうりんじ おののこまちすがたみのいど日間山法輪寺・小野小町姿見の井戸』

日間山法輪寺は真言宗御室派の準別格本山です。歴史は古く700年代にできた寺院で、源平藤戸合戦のときに源氏の本陣だったと言われており、法輪寺本堂前に石碑があります。境内からは昔、海だったという、藤戸海峡あたりが望めます。

(現在は建並ぶ家並みが望めます)

小野小町姿見の井戸は、平安の昔、絶世の美女として知られていた、備中国黒田村の守護小野備中守常澄の娘の小町が顔にできものをわずらい、日間山法輪寺の本尊正観音に病氣平癒の願を立て、毎日この井戸に自分の顔をうつしていました。満願の日、病氣は全快しました。



1月『はぐろじんじゃ羽黒神社』

玉島は、もともと海だった一帯を江戸時代前期に備中松山藩によって干拓され、広い土地が生まれました。

羽黒神社は、その干拓の成功と干拓で生まれる土地の安寧(あんねい)を祈って出羽の羽黒神社を勧請した神社です。また羽黒神社は、オリジナリティあふれる個性的で芸術的な御朱印でも話題になっています。

屋根の上には烏天狗の鬼瓦があり、今では町おこしのシンボルとなっています。

平成26年には、からす天狗を模したゆるきゃら「はぐろん」が誕生しました。



2月『むかししもついかいせんどんやむかし下津井回船問屋』

明治時代の回船問屋の建物を復元した資料館です。

母屋など当時の商家の様子をうかがえるほか、下津井にまつわる資料の展示や地元特産物の販売、食事処もあります。

下津井は下津井節でも唄われているように江戸時代から栄えた古い港町です。かつては、北前船が運んできたニシン粕の荷下ろしや金比羅参詣の旅人などで大変な賑わいでした。

下津井の町の中には観光資源と言うべきものがたくさんあります。

魅力あふれる町の風景は、映画「ひるね姫」の舞台としても描かれました。

